



実用新案登録願 (4)

昭和54年10月29日

特許庁長官 川 能 雄 殿

1. 考案の名称

ポリエステルと紙の複合シートよりなる容器

2. 考案者

住 所 神奈川県横浜市緑区長津田町1398

氏 名 岡 部 光 雄 (ほか1名)

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都新宿区市谷加賀町1-12

名 称 (289) 大日本印刷株式会社

代表者 北 島 織 衛

4. 代 理 人

住 所 〒162 東京都新宿区市谷加賀町1-12

大日本印刷株式会社内 Tel. 266-2570

氏 名 (7258) 弁理士 小 西 淳 美

5. 添附書類の目録

(1) 明 細 書 1 通

(2) 図 面

(3) 願 書 副 本 1 通

(4) 委 任 状

(5) 出願審査請求書 1 通

方式  
書合

委任状は  
ものを採用する。

実用新案登録出願 ( / ) に添附した

54 149694

65809

## 明 細 書

### 1 考案の名称

ポリエステルと紙の複合シートよりなる容器

### 2 実用新案登録請求の範囲

- (1) ポリエステルと紙の複合シートよりなる、フ  
ランジ付プレス成形容器において、フランジ  
が長手方向に波形形状に成形形状に成形され  
ていることを特徴とするポリエステルと複合  
シートよりなる容器。
- (2) ポリエステルと合成パルプ混抄紙の複合シー  
トよりなることを特徴とする実用新案登録請  
求の範囲第1項記載のポリエステルと紙の複  
合シートよりなる容器。

### 3 考案の詳細な説明

本考案はポリエステルと紙の複合シートより  
なるフランジ付プレス成形容器に関する。

ポリエステルと紙の複合シートよりなるプレ  
ス成形紙皿は数年前よりアメリカを中心に出廻  
り始めたもので、オーブン及び電子レンジの両  
方に使用できる容器として急速に伸びつつある。

アメリカにおいては上記容器は調理済み冷凍食品を収容したのちトレイシールし、外装はしない形態で用いられる場合が多い。

その場合、<sup>せん</sup>横面が外気に接しており、水分の影響が少ないので、フランジの変形等のトラブルは全くみられていない。

一方、日本においては、上記容器はパン、ベストリー、デニッシュ、惣菜等の包装容器として実用化され始めているが、店頭展示効果、塵埃等の二次汚染防止、流通の簡便性等の理由から、内容物を上記容器で密封包装し、更に、プラスチックフィルムによるビロー包装、ストレッチ包装等の外装を施した形態でほとんど用いられている。この場合、外装包装体内は内容食品の含有水分の蒸発により高湿度となり、この水分の影響により紙が伸び、一方、ポリエステルはさほどの伸びを示さないので、伸びの違いにより複合シートの反りが発生する。特にフランジ部は水平のものが垂直に立ち、更にはトレイ内面側に反り返り、それにより著しく容器の外観が損なわれ、且つ内容物が圧迫される。僅

端な場合には容器外側にあつた複合シートの紙面が内容物に着くほど形状変形が進み、衛生上好ましくない状態となる。

本考案者は叙上の欠点を解消すべく研究の結果フランチを長手方向に波形形状に成形することにより水分吸収による容器形状変形を完全防止し得ることを見出し、かかる知見にもとづいて本考案を完成したものである。

即ち、本考案の要旨はポリエステルと紙の複合シートよりなる、フランチ付プレス成形容器において、フランチが長手方向に波形形状に成形されていることを特徴とするポリエステルと複合シートよりなる容器である。

以下、本考案につき図面を参照しながら詳細に説明する。

第1図及び第2図は本考案の容器(5)を示して第1図は斜視図、第2図は断面図である。

本考案の容器においては、フランチ(4)が長手方向に波形形状に成形されている。尚、図において(1)は紙、(2)はポリエステル、(3)は紙とポリエステルの複合シートを示す。

上記のようにフランジが波形形状に成形されていることにより複合シートの紙の部分に水分が吸収せしめられることによつて発生する容器形状変形は防止又は軽減される。

又、本考案の変形防止効果は、容器をポリエステルと合成パルプ混抄紙（合成パルプ混抄率5〜50%）の複合シートにより構成<sup>(70)</sup>ことにより更に良好ならしめることができる。

以上詳記した通り、本考案の容器は水分吸湿による形状変形が防止又は軽減されたものであるので、例えばパン、ベストリー、デーニッシュ、パウンドケーキ等の生地を容器内に入れてからベーキングしたのち、外装して用いられる包装容器の如き、内容物を収容した状態で更に外装される包装容器として有効に活用することができる。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本考案の容器を示し、第1図は斜視図、第2図は断面図である。

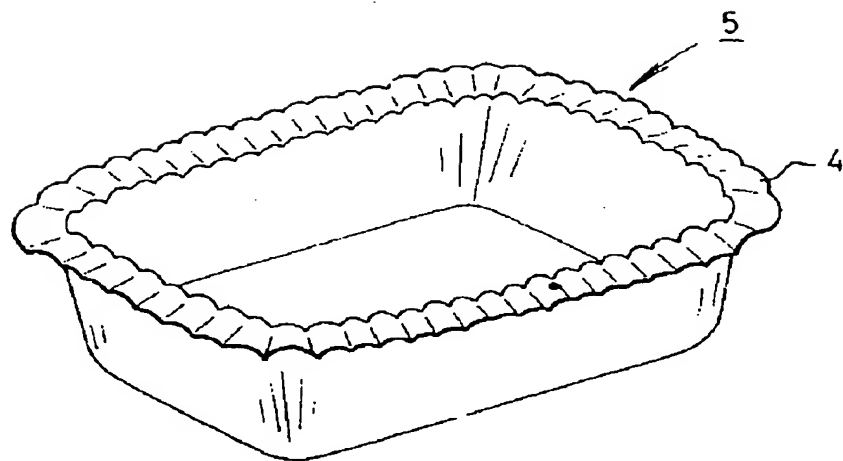
(1) ..... 紙

(2) ..... ポリエステル

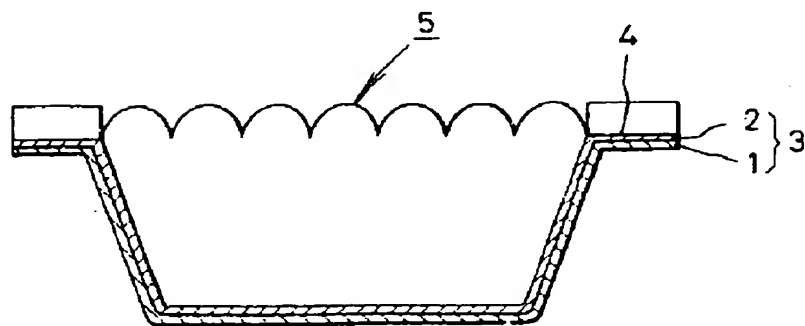
- (3) ..... 紙とポリエステルの複合シート  
(4) ..... 波形形状に成形されたフランチ

実用新案登録出願人 大日本印刷株式会社  
代理人 弁理士 小 西 淳 美

第 1 図



第 2 図



65809

△ 前記以外の考案者

住所 東京都日野市多摩平3の32の4  
氏名 荻原 洋 一

65809